

カナダでの INTAPT コースに参加して

佐世保市立総合病院 糖尿病・内分泌内科 森内昭江

この度、カナダのトロント大学で開催された INTAPT (Interprofessional Applied Practical Teaching and Learning in the Health Professions) コースに参加させて頂きました。

私は糖尿病を専門としており、コーチングを含めた患者教育に以前から興味があったため、教育理論に関するコースと聞いて、臨床にも役立てればと考え応募し参加させて頂きました。患者教育とは全く異なるものでしたが、自分の考えを変えてくれる貴重な経験になりました。

INTAPT は 10 月中旬に授業主体で、3 月末に発表主体で、各 1 週間ずつトロント大学でセミナーが開催され、間の半年間は インターネットでの宿題提出を行い、全てを総合して合否判定される一連のコースです。INTAPT の international consultant でもある医療教育開発センターの浜田久之教授と 1 年前に参加された同センターの小畑陽子先生に、8 月に説明会を開催させて頂きました。その際「Learning contract が全て」と浜田教授に言われ、10 月も 3 月もともに初日に提出しないとイケない課題の一つであり、重要なのだろうけどそれが一体なんなのかよくわからないまま とりあえず埋めて提出した感がありました。全てが終わろうとしている今になってやっと Learning contract の重要性がわかったような気がします。

教育は passive ではなく active な過程であるべき という考えのもとに、Learning contract は Learner の Self-directed learning を促す assessment tool で、すなわち 自主的に責任を持って目標を達成することをサポートするための一手段として、成人教育理論において非常に重要であることを認識できました。また指導医 : teacher になるべく参加した私たち learner が、self-directed learning を促され、この半年目標に向かってきたのだと気づきました。

また INTAPT を通して カナダと日本の差として実感したのは、「評価」という言葉の意味・使い方の違いです。10 月・3 月とも 各 5 日 : 月～金曜×2 回 : 午前・午後=10 コマありましたが、各コマ終了後に 生徒が 教授・講師への評価 : evaluation form を Survey Monkey というサイトから投稿するのです。また 3 月には 個人ポスターおよび小グループでのワークショップの 2 つの発表を全員が行いましたが、10 月の最終日にもポスターおよびワークショップの予定を発表しました。10 月も 3 月も発表者以外の聴衆全員が 全ての発表に対する評価 : feedback form を記載しその場で本人に渡すというように、教授・学生といった立場を問わず 何かをしたら直ぐに評価をもらい今後の改善・発展に繋げる

というシステムが徹底していました。他人に意見することに慣れていない私たち日本人にはこの **feedback form** 記載時にペンが進まず、また全項目 最高評価をつけがちでしたが、具体的な意見がないと「私をよくしようと思ってくれないのか、真剣に見てくれなかったのか」と捉えられる雰囲気さえ感じました。これらの他人からの評価：**feedback** のみならず、自己評価・自己分析：**reflection** も非常に重要視されていました。ポートフォリオはまさにその集大成であり、これまで提出した課題や発表全てに対し自己評価も行うものです。慣れないためなかなか進まないのですが、この **reflection** で 復習・反省をもとに今後の展開を考えると、半年前の自分と比べ 成長できたような気がします。

他者からおよび自己への 2つの「評価」をもとに成長したという経験から、今後は 以前なら落ち込んでいたかもしれない厳しい評価を頂いても **positive** に 成長・改善に繋げていきたいと思います。

与えられた課題をこなし評価：**Judge** される日本の教育に、自ら目標を立て 評価：**feedback** をもらいながら目標を達成し成長していく北米の教育理論を取り入れるのは大変だとは思いますが、浜田教授・小畑先生に相談しながら、今回学んだことを佐世保での研修医指導に取り入れ、よりよいものにできればと思います。

最後になりましたが、このような貴重な経験の機会を与えて下さった浜田教授、半年間優しく支えて下さった小畑先生および林田さんをはじめとする新鳴滝塾の方々に、心から感謝致します。本当にありがとうございました。